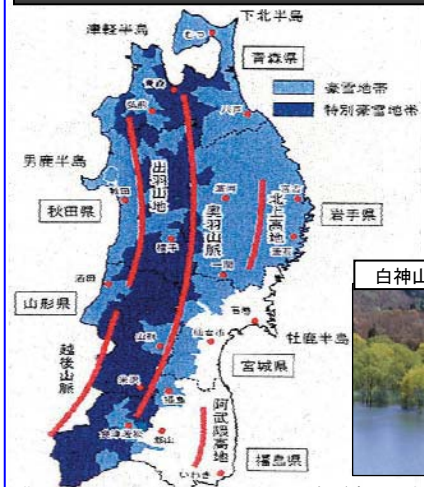
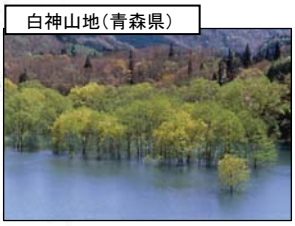
１．平成22年度予算概算要求に関する基本方針

東北地方整備局は、東北地方の今後取り組むべき課題を踏まえ、**目指すべき将来の姿のために、計画的かつ着実な社会資本整備を進めます。**

東北地方の現状は・・・

豊かな自然を有する一方で、厳しい地形・気象条件にある東北地方




白神山地（青森県）

豊かな自然を有する一方で、国土の8割が豪雪地帯で、都市間を脊梁山脈に阻まれている状況

高速道路ネットワークにミッシングリンクが多数存在する東北地方

高規格道路	（供用・未供用）
地域高規格道路等	（供用・未供用）
新幹線	（供用・未供用）

特定重要港湾	
重要港湾	
拠点空港（国管理空港）	
拠点空港（特定地方管理空港）	
地方管理空港	
共用空港	

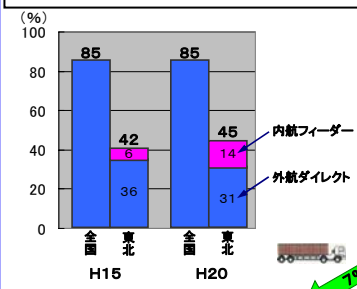


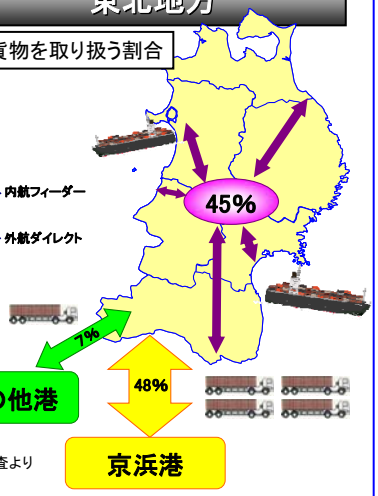
（平成21年8月現在）

三陸道や日沿道等、高速道路ネットワークにミッシングリンクが多数存在し、港湾・空港等と連携した安定した交通基盤整備ができていない状況

グローバル化が遅れている東北地方

自治域内の港湾でコンテナ貨物を取り扱う割合





H20全国輸入コンテナ貨物流動調査より

コンテナ貨物の自地域港湾利用率は、全国に比べて大幅に低く、物流機能を他地域に依存している状況

多発する自然災害と隣り合わせの東北地方


H19.9豪雨水害（秋田県）


H20.6岩手宮城内陸地震で被災した橋梁（岩手県）

30年以内の発生確率99%の宮城県沖地震等、自然災害と隣り合わせの状況

など

今後取り組むべき課題は・・・

- 広大な国土、脊梁山脈、豪雪地帯の克服
- 自然災害に対する安全・安心の確保
- 産業の活性化、競争力ある産業の振興
- 都市と農山漁村の共生
- 国際交流・連携の強化
- 豊かな自然を活かした地域形成

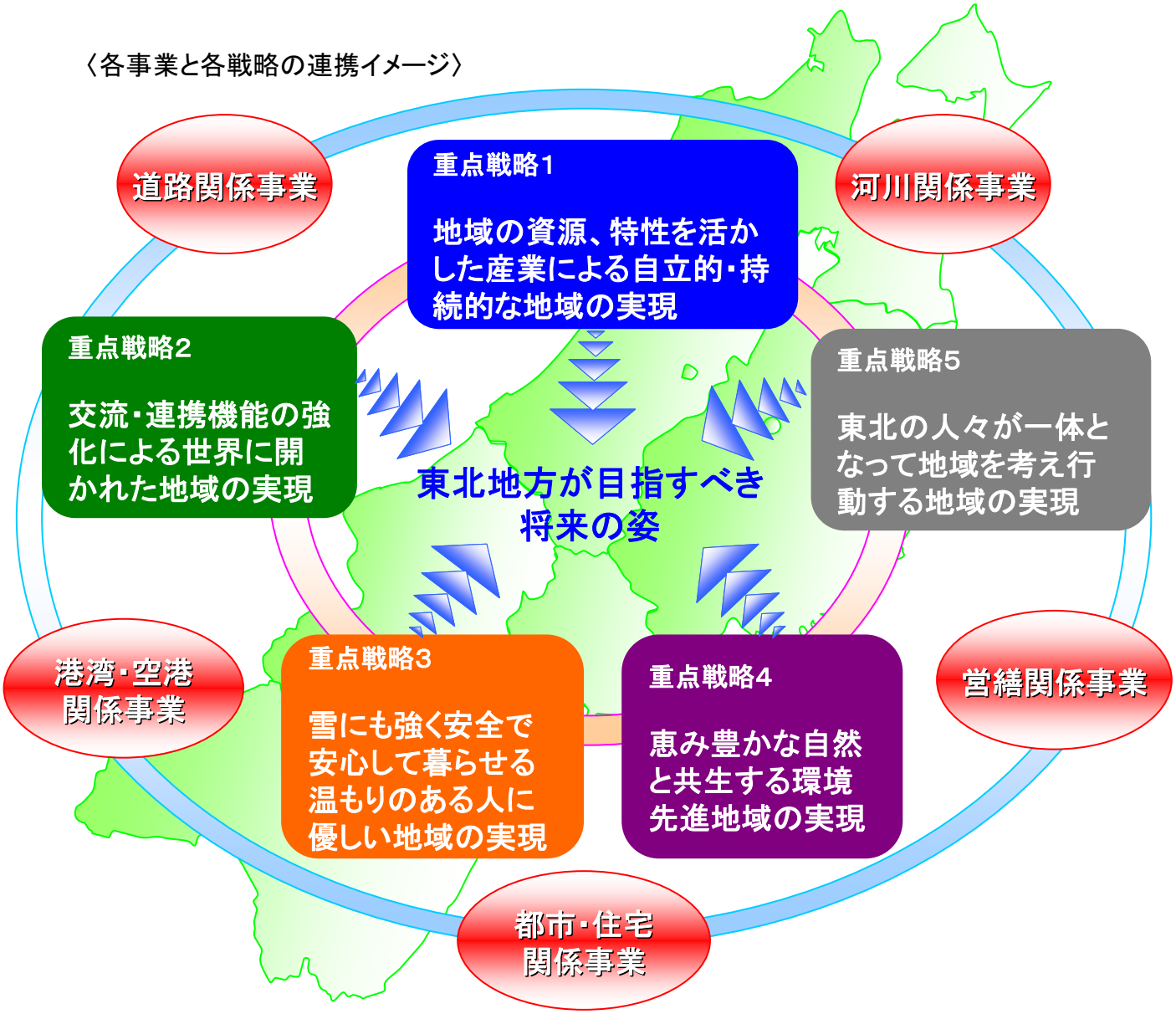
今後取り組むべき課題を踏まえ、東北地方が目指すべき将来の姿は・・・

『優れたポテンシャルを活かしながら、人・物・情報の国内外との交流・連携を深め、低炭素社会の構築などの新たな時代の潮流に対応・貢献できる多様で自立した地域』

そして、将来の姿に向かって

5つの重点戦略を掲げ、社会資本整備を進めます！

〈各事業と各戦略の連携イメージ〉



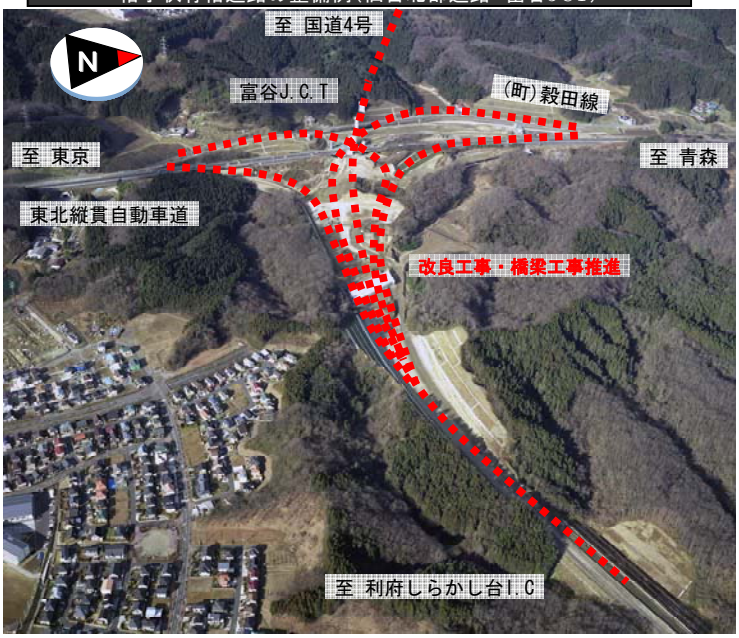
5つの重点戦略概要

重点戦略1．地域の資源、特性を活かした産業による自立的・持続的な地域の実現

◆競争力ある産業を支える**国内物流ネットワークの形成**のため、格子状骨格道路や港湾等の整備等を推進します。

◆地域特性を活かした**観光の充実**のため、賑わいや交流の拠点整備や、快適なまち歩きのためのルート整備等を推進します。

格子状骨格道路の整備例（仙台北部道路　富谷JCT）



交流拠点整備やまち歩きのためのルート整備イメージ





重点戦略2．交流・連携機能の強化による世界に開かれた地域の実現

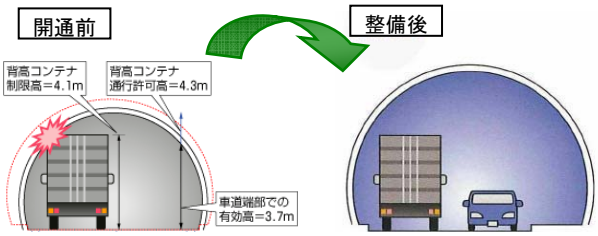
◆東アジア・ロシアや北米等との**国際交流・連携強化**のため、国際物流基幹ネットワーク形成に対応した道路整備や、港湾の物流機能充実等により、物流の効率化、コストの低減、安全性・安定性・信頼性の向上を推進します。

港湾機能強化と道路の連結による物流効率化のイメージ



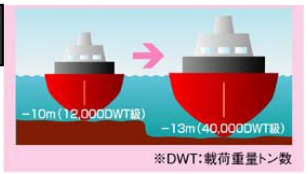
▲東北全域のグローバリゼーションを進め、効率的かつ効果的な交流・連携を実現するためには、その拠点となる港湾・空港の機能強化と、高速道路等の国内物流ネットワークとのシームレスな連結が必要

国際物流基幹ネットワークに対応した道路整備のイメージ



▲国際コンテナ通行支障区間を解消し、効率的な輸送体系を構築する。

大型船に対応した岸壁・泊地の整備イメージ

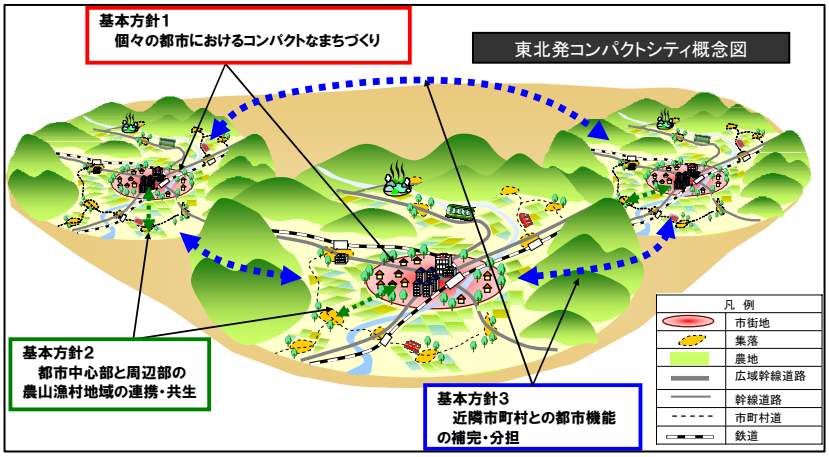


▲大型船に対応した岸壁や泊地等を整備することにより、一括大量輸送が可能となり、物流の効率化が図られる。

重点戦略3. 雪にも強く安全で安心して暮らせる温もりのある人に優しい地域の実現

◆「東北発コンパクトシティ」による**都市と農山漁村の連携・共生**のため、誰もが移動しやすい交通ネットワークの整備や、再開発等による都市機能の集積、地すべり危険地帯等における集落の保全対策等を推進します。

◆**高齢社会等に対応した安全で安心できる生活**のため、中核医療施設への所要時間を短縮する道路整備や、ユニバーサルデザインに対応した公共施設のバリアフリー化整備等を推進します。



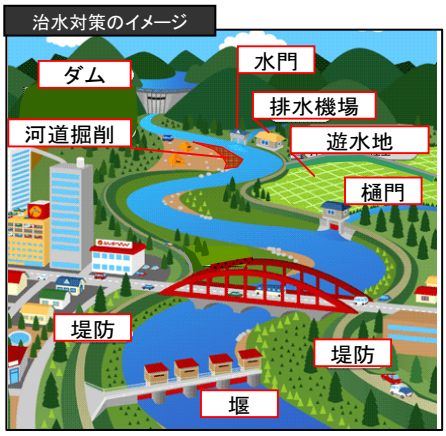
▲コンパクトシティは、都市機能を集約することによって中心市街地の活性化が期待できる他、除雪等の行政サービスの効率化や、高齢者が自家用車を利用しなくても徒歩で生活することができるなど、様々なメリットがある

高速道路の救急車搬出路設置イメージ



▲高速道路の整備とともに、高速道路に救急車専用の退出路を設置するなど、救急医療施設へのアクセス改善等を進める

治水対策のイメージ

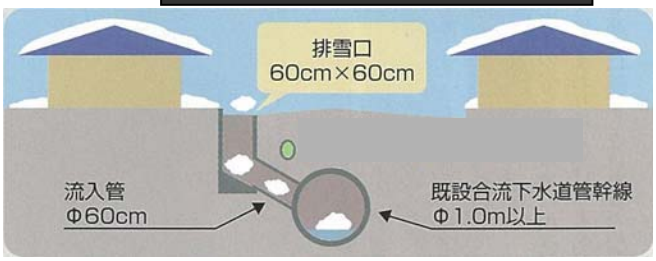


▲沿川の土地利用状況を踏まえた多様な治水対策等を推進し、災害から暮らしを守る地域を形成していく

◆**災害から暮らしを守る地域の形成**のため、河川改修やダムによる治水対策、また様々な社会基盤施設の耐震化や防災拠点としての公園整備、さらには津波・高潮被害対策としてのGPS波浪計や防波堤整備、災害時の緊急物資輸送に資する道路・港湾・空港等の整備等を実施するとともに、迅速な災害対応のための光ファイバー網の構築等を推進します。

◆**雪に強く、安心して暮らせる地域の形成**のため、除排雪機能等を付加した河川や下水道整備、また、冬期の安全な通行のため、道路の防雪対策等を推進します。

排雪機能を付加した下水道整備イメージ



▲冬期歩行空間確保などのため、排雪機能を付加した下水道整備を推進する。

社会資本ストック長寿命化対策の例
（一般国道7号本荘大橋）



▲社会資本ストックの多くが高度経済成長期に集中して建設されたため、一気に老朽化を迎える。安全・安心及びコスト的な観点から長寿命化対策が必要となる。

◆**既存の社会資本ストックの機能の持続及び長寿命化**のため、既存ストックの予防保全対策等を推進します。

重点戦略4. 恵み豊かな自然と共生する環境先進地域の実現

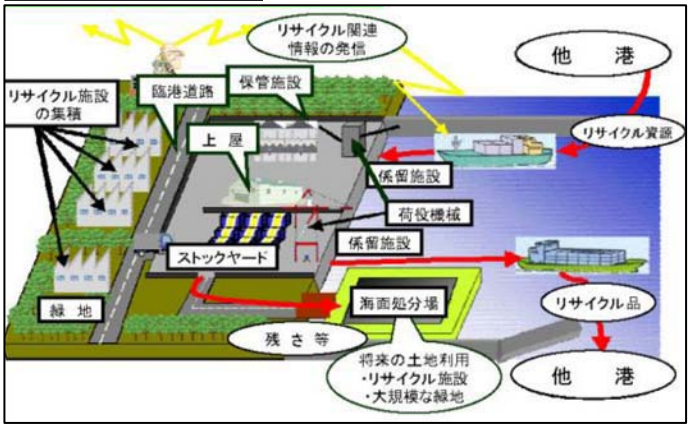
◆地球温暖化防止に向けた**低炭素社会の実現**のため、渋滞対策によるCO2削減、環境負荷を低減した庁舎整備、またクリーンエネルギー導入に資するダム事業等を推進します。

◆資源の有効活用による**循環型社会の実現**のため、静脈物流ネットワーク構築のためのリサイクルポートの整備等を推進します。

◆**歴史・伝統文化を活かした地域の形成**のため、それらの特徴を活かした公園整備やまちづくり、良好な景観形成等を推進します。

◆**美しく豊かな自然環境との共生**のため、河川の水環境・自然環境の保全・復元や海岸の侵食対策、また親水空間等の整備等を推進します。

リサイクルポートのイメージ

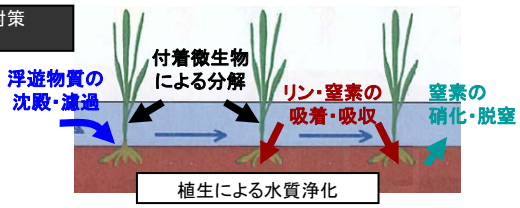


▲リサイクルポートは港湾を核とした総合的なリサイクル物流の拠点であり、各港のネットワーク化により循環型社会の形成に資する

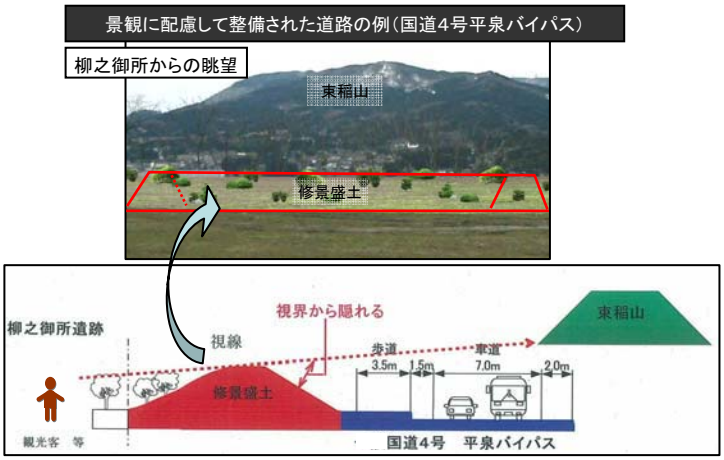
公園整備のイメージ



水環境保全対策のイメージ



景観に配慮して整備された道路の例（国道4号平泉バイパス）

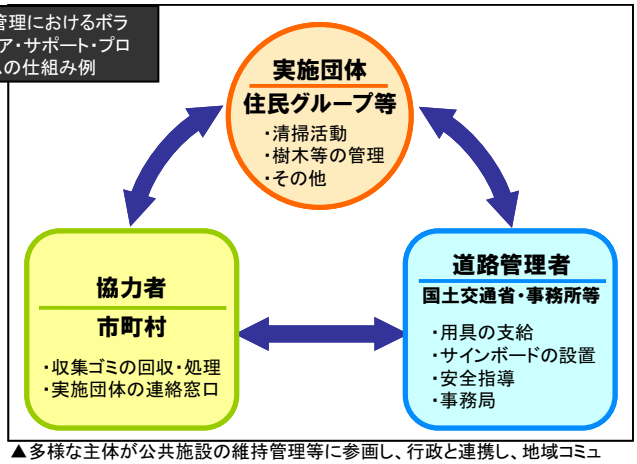


▲盛土をすることによって、遺跡を訪れる観光客から、バイパスを通過する車両を隠して遠方の山を望むことができる。

重点戦略5. 東北の人々が一体となって地域を考え行動する地域の実現

◆**「新たな公」との協働**のため、公共施設の維持管理及び運営等を、多様な主体と協働で取り組みます。

道路管理におけるボランティア・サポート・プログラムの仕組み例



▲多様な主体が公共施設の維持管理等に参画し、行政と連携し、地域コミュニティの再構築を含めた、地域社会の再生・活性化を図る

地域住民による公共施設の維持管理（例）

